



令和6年9月6日

報道関係者 各位

市長公室長 後藤 貴志

市川市名誉市民決定通知書授与式について

市川市では、市民又は市に縁故の深い者で、市に対し功労のあったもの又は広く社会の進展、学術文化の隆興に貢献したもののうち、その功績が顕著であるものに対し、市川市名誉市民の称号を贈り、市民の敬愛の対象として顕彰しています。

この度、卓越した功績をおさめられた「片岡 直公」氏、「中津 攸子」氏を名誉市民に決定いたしました。つきましては、市川市名誉市民決定通知書授与式を下記の日程で行いますのでお知らせいたします。

記

○日時

令和6年9月11日（水） 10：40～11：00

○会場

市川市役所第1庁舎4階 第1応接室

○名誉市民顕彰対象者

片岡 直公 氏

中津 攸子 氏

○名誉市民決定日

令和6年8月9日

○備考

授与式には受賞者ご本人が出席されます。

授与式中の写真撮影並びに、授与式終了後には受賞者を取材する時間を設けております。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

以上

【お問合せ】

市長公室秘書課 課長 菊池 淳郎

電話 047-712-8568

市川市名誉市民の決定について

○市川市名誉市民は、市民又は市に縁故の深い者で、市に対し功労のあったものの又は広く社会の進展、学術文化の隆興に貢献したもののうち、その功績が顕著であるもの（故人を含む）に対し、市川市名誉市民の称号を贈り、市民の敬愛の対象として顕彰するものです。（市川市名誉市民条例 第1条）

○名誉市民を決定しようとするときは、市長が、市川市名誉市民選考委員会に諮問し、その答申に基づいて行うこととされています。（市川市名誉市民条例第2条）

○市川市名誉市民選考委員会 委員 15 名（委員長 小林俊之氏）

○市川市名誉市民選考委員会開催日 令和6年7月26日

○諮問日 令和6年7月26日

○答申日 令和6年8月6日

○決定日 令和6年8月9日

○顕彰予定日 令和 6 年 11 月 3 日
(市制施行 90 周年記念式典)

※ 主な功績については、別紙のとおりです。

名誉市民 功績概要

片岡 直公（かたおか なおきみ）氏 （満 87 歳）

功績	株式会社全日警の創業者として、インフラや公共施設の警備など、防犯・防災の観点から国民生活の安全や産業発展に尽力された。 また、市川商工会議所の会頭、名誉会頭として長年にわたり、中小企業の活力化に向けた政策の提言、東京外かく環状道路の整備・推進、地域イベントの支援など地域経済社会の発展及び産業の振興に貢献した。	
略歴	昭和 41 年	株式会社全日警設立、代表取締役
	平成 14 年	一般社団法人全国警備業協会会長
	平成 16 年	市川商工会議所会頭
	平成 21 年	千葉県行財政改革推進委員会委員
	平成 22 年	市川市政功労賞受賞
	平成 23 年	旭日中綬章受章
	平成 25 年	市川商工会議所名誉会頭
	平成 27 年	市川市観光協会会長
		市川市民納涼花火大会実行委員長
	令和 3 年	全国間税会総連合会会長

中津 攸子（なかつ ゆうこ）氏 （満 89 歳）

功績	『市川の歴史』『真間の手児奈』『万葉集の中の市川』等、市川に関する歴史書や小説、絵本などの著作を数多く手がけられ、本市の歴史、文化の普及に尽力された。 また、「新樹の会」を主宰し、俳句や短歌など文学を通じて、長きにわたり高齢者の生きがいつくりや子どもたちの教育の向上にも力を注がれ、市政の発展に多大なる貢献をされた。
略歴	昭和 51 年 国府台女子学院にて教鞭を執った後、『武田氏の祖は高麗王かーひきちぎられた家系図のナゾ』を発表 昭和 58 年 『市川の歴史』刊行 昭和 63 年 市川市社会福祉協議会理事 平成 元年 「新樹の会」設立 平成 2 年 文芸寄稿誌『新樹』創刊 平成 9 年 第一回市川市民文化賞奨励賞受賞 平成 10 年 『和泉式部秘話』で第十二回中村星湖文学賞受賞 平成 11 年 市川市文化アドバイザー 平成 15 年 市川市中央図書館へ九十冊に及ぶ著書を寄贈 「中津攸子と江戸時代」展を同館にて開催 平成 20 年 市川市政功労賞受賞 月刊いちかわ『こころのふるさと紀行』連載開始 平成 21 年 第二回市川市民芸術文化賞受賞 平成 25 年 市川よみうりにて『地元発掘！こんなところに秘story』連載開始